

毎週日曜発行  
2021 1/10

# こども新聞 週刊がほピョンプレス



# がほピョンプレス



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

## みんな 子ども だった!?

10

きょうのテーマ

今年最初のインタビューは、声優として映画、テレビなどで大活躍の山寺宏一さんだよ。どんな子どもだったのかな。

◇ 小さい頃から物まねが大好きでした。家で犬や猫、鶏、アニメキャラクター、歌手をまねて、親や姉を笑わせていました。

でも通っていた多賀城小では、からかわれるのがいやで目立たないようにしていました。お楽しみ会などで、物まねがで



山寺宏一さん(59歳・声優)

いろんな声を出せるのは、小さい頃から物まねをしていたからかな。聞いた音を自分の声で表現したくなる癖は、昔も今も変わりません。

きるようになったのは3、4年生からです。

ある時、転校した女の子がクラスに送ってきた手紙に「山寺君はいろんな声を出せて面白かった」と書かれていました。家族以外に、物まねを褒められたのは初めてでした。



子どもの頃の夢はトランプペッター。姉のレコードを聴いて憧れましたが、演奏者を選抜する小

やまでら・こういち 塩釜市出身。1985年に声優デビュー。出演(しゅつえん)作は、それいけ!アンパンマン(チーズ役、カバ夫役ほか)、かいけつゾロリ(ゾロリ役)、ディズニー作品(ドナルド・ダック役)など多数。

途中からは見学ばかりでした。辞めなかったのは、練習で苦楽を共にした仲間との絆が強かったからだと思います。



物まねはずっと好きでしたが、思春期に入ると女子を意識して、人前で披露しませんでした。特に中学時代は部活の同級生にだけ見せて、笑いを取っていました。

中学校の行事で、生徒有志がコントをしたことがありました。面白くて観客席で他の生徒と一緒に大笑いしました。「大勢を笑わせるって、なんてかっこいいんだ」と思った反面、自分が笑わせる側にいなくて悔しかったことを覚えています。

声優を志したのは、大学で落語研究会に入った後です。幼い頃から好きだった物まねと笑いが落語、声優につながり、今も役立っています。

# 大好きな物まね今も役に

みんな思い出

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

### 今週の注目ニュース

◇16(土)、17日(日) 大学入学共通テスト  
昨年までの大学入試センター試験に代わり、初めて実施されるよ。センター試験より「思考力・判断力・表現力」が試される内容になるそう。国の準備不足による混乱もあったけど、受験生の皆さん、頑張ってください!!

きょうの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 タイニーマスク
- 4・5面 いいね 小学校
- 6面 絵でわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー